

つきましては従来とありましては、公害の被害につきましては一層強く注意を促してまいりたいと思っております。

公害対策につきましては予算が貧弱だということもございますが、都の相当の予算がござりますし、他の市町村と比較して見劣りするようないことはしてあります。なお一層充実してまいりたいと思っております。

光化学スモッグによる学校児童生徒の医療につきましては、学校安全会が負担をしていただけるようござりますし、一般市民につきましてはたゞいま都の衛生局が検討中でございます。測定器につきましてはほとんど都が設置したものでござりますので、現在のところオキニカントの測定器を買い出す予定はございません。

公害関係の条例につきましてはいくつかの市で公害条例を作っておりますけれども、主として精神面の強調でございます。これは東京都の条例より強い内容の条例を作らなければ意味がないわけでございますので、たゞいまのところこれを設置する考えはございませんが状況によってはおせわになるかも知れませんけれども、たゞいま

のところ考えはござりません。

P・C、Bにつきましてはまだ国や都の基準が決っておりませんが福生市におきましては四月末に土壌の採取をいたしました三鷹市にある三井金属に委託をいたしましたので分析をいたしました。横田基地排水関係におきましては全然P・C、Bは出ておりません。都市下水路においては微量を検出いたしました。たゞいまのところ心配することは全然ございません。なおP・C、Bを使っております工場は全部停止しておりますので現在のところござりません。又これらの発表につきましては国、都の基準が決っておりませんのでまだ発表する段階ではないと思っております。ましてたゞいまのところあつても微量でござりまして人体には影響はござりませんので発表はいたさないつもりでございます。今後もし分析をいたしました人体に影響するような場合はもちろん発表しなければならぬと思っております。

なお騒音につきしてももちろん測定はしております。保育所の件でございます。二子以上の保育料の半額に

いります。中には年収四百万円を越えてゐる方もあります。これをさらに半額にすることはできずと現在の市の保育園を考えますと半額にする考えはないわけになります。

なお三才未満児の場合各施設によって若干の相違はありますが大体三万円前後で、二万円を越す施設もあるしそれ以下の場合もあるわけですが、国の定めた基準が一人一万六千五百九十円、これが一万四千円のクラスに該当するものとあります。市はそれに對しまして一万四千円でいたしますので毎月五千五百九十円を持ちあはしてゐるわけになります。これはもちろん地方交付税あるいは都の振興交付金の中には含まれておらず、市単独となつておりますのでさらにどのような高額得者に対する救済という措置はとれないのが当然ではないかと考えております。

次に思認保育園の助成の措置でございますが、これにつきましては現在松山議員さんが先ほど申されたとおり志茂に森田母子健康センターがあり、定員十五名を運営してありますが、これに對する措置については市長にはその権限がないわけになります。

この施設はゼロから小学校三年生までを対象に預かる施設でございます。現在措置してゐる子供が九名おりますが、そのうち福生市の子供は五名でございます。したがって四名は他市町の子供でございます。また逆に他市町へ福生の子供も措置されてゐるのではないかとこのふうな考えらるわけになります。

なおこれは措置権がございませんので福生市の場合には措置された名義が後日送付されてきておりますが、例えば隣接の昭島市や立川市へお願いされた場合については全然こちらへ報告がなされておられませんので現実には実態がつかないわけになります。そのようない関係もあります。先ほど市長が申しあげましたとおり現在実施しております保育園、幼稚園に對する助成については当然しなけいばならないのではないかとこのこと、助成をソテすべく私も事務を進めてゐる次第でございます。

以上簡単に申し上げますが答弁とさせていただきます。

○十番(松山 清君) 自席から再質問させていただきます。

市長はミドルマーカーが着陸の安全をはかる上むしろ必要

なものと考えろ。——ということも、そうござります。市長はこのミドルマーカーが基地の一部だと思つてゐるのか、それとも基地ではないと思つてゐるのか、どちらかはつきりさせて置きたいと思ひます。それからカソリン輸送車についてですが、この問題もまったく野放し状態だ、例えば五日市街道の踏切りでいつ事故が起るかどうかわからない状態にあるわけです。数年先には新宿が大火、な事故が起きてゐることは衆知のとおりでございます。にもかかわらずそういうものについて福生市民が住んでゐるところを通過してゐるものについてまったく野放しでいいのかどうか再度お伺ひしたいと思ひます。まずその点からお願ひいたします。

○議長（末次性男君） 十番松山議員に申しあげます。

各項目についてまとめて質問願ひします。

○十番（松山 清君）（続）公害対策ですが、結局は予算の裏づけが……、力を入れたといつても予算についてこの程度でいいという考えであるならば何んらその裏づけがないわけです。そういう点を再度公害対策というものについて真実に考えてもら

いたわけですね。

それからP、C、Bの問題にしても、確かに基地排水路はゼロで都市下水路は微量を抽出したが、そういうものは発表しないということだがなぜ発表できないのか、微量なら微量ということでも市民に発表し市民の心配をはらす必要があると思ふ。そういうことは多額の金をかけなくてもできるわけです。今までの騒音等の測定結果もそうですが何んら市民に対して発表されてゐないというのでは非常に困るわけです。やはり市民の心配してゐることを一つ取りのぞいて置つてもらいたいということでは是非データーをも発表されることを要望したいわけです。

それから予算の面ですが、他市町村と比較して見劣りしないということも、ソつたら笑われてしまうと思ふのです。予算をふやせという要求には、他市町村と比べて決して少ないの増額しないということも、少ないものについていうわけですが、例えば保育園の問題もすでに他市町村でやってゐるものについてはそれらの水準まで引き上げないわけです。そういう点で答弁の中で

が、いままの国や都でも数量についてはおそろく発表をしない、
いのちはないかと思ひます。何P、P、Mということの基準が近い
ちに決まってくると思ひますのでこの基準が決まりましたらいつでも発表し
てもよろしいと思ひます。

なおこれを分析いたしますには一点五万三千円の分析料を要します。
それから二子以上の保育料をいさしすすけいとして、所得税をかなり
納めて下さる方はよろしいのではないかと思ひますが、C階層につま
ずしては都が本年度から半額にするということをごいさしして、
是非その程度をいさしていただくたいとお願ひ申しあずる次第で
いさしすす。

なお思ひます保育所に対する補助については先ほど保育園、幼稚園
くらいということを申しあずしましたが、大体そのくらいを基準におきま
して今後よく考え次の補正予算にお願ひしたいつもりでいさしす。
○十番へ松山 清君　市長もミドルカーが基地の一部だと、これは
当然なわけです。　　またにあそこは米軍施設であり日本人は入れ
ないわけです。　　市長は再三基地の拡張等については反対だといふ

ことを今まいさしてきくとと思ひます。　　そういうことからすると
非常に矛盾してゐることを実際にやってみるわけです。　　昭島
市においては市議会や市長がこういうものについて基地拡張
だということに反対をしております。　　当然基地の一部が拡張さ
れるわけですからこれによつてますますわいわい市民の上空を飛行
機が飛ぶという可能性が十分考えられるわけで、こういうことについ
て当然反対の態度を表明してゐてもらいたい。　　それが市民に対
する市長の責任であると考えております。　　今からでも遅く
はないわけですから今後簡単に安全だとうのふにしてこういうも
のを認めていくという考えを改めていってもらいたいことを要請い
たします。　　この点について今後どう対処していくか答弁をお願
ひいたします。

それからガソリン輸送車について質問したのですが、その点の
答弁がなかったと思ひますが、一日にドラム缶にして二万本以上
のガソリンが基地にはい込まれております。　　非常に危険だ
ということをご自治体でも論議されてゐるのをごいさをもう一度

とお聞きしたい。

それから、公営関係のデーターの発表ですが、これはP、C、Bだけでなくその他騒音や鉛等測定したもののについてはどうつと市民に対して発表してもらいたいと思うが、その点についてどう考えられているのかお聞きしたい。

保育所の関係ですが、ミニマデーターを要望したいのですけれども、先ほどから結局半額についてはC階層は東京都でやるからということ。全然誠意がみえないわけですけれども、福生市の場合調べれば大体Dと階層ぐらいが一番多く措置されているのではないかと思うのです。現在ニ子以上措置されている世帯がどれくらいあって、半額にした場合はどのくらいの予算が必要となるかということをお聞きしたいと思います。その上でもう一度お聞きしたいと思います。

○市長へ石川常太郎君 自席からお話しをさせていただきます。

ミドルマーカーがあってもなくても飛行機は飛ぶと思います。ミドルマーカーがあるためだけに飛ぶということはないと

思います。飛行機が安全に着陸できるならばそのほうがよろしいと思います。

カソリン輸送用の貨車につきましては、付近の方に大変迷惑をかけると思います。これはやむを得ないものと考えます。

保育園児の半額についての計算につきましては福祉事務所長からお答え申しあげます。

P、C、Bについては国あるいは都の基準が決りまして国や都が発表するようにしたり福生市でもありますし、又そうした事態にならなくても、もし市で分析して危険がある場合には発表をいたします。

○福祉事務所長へ森田 猛君 保育所の問題についてお答え申しあげます。

今年の六月一日現在で私どもがニ子目を措置してソコ世帯数でシヤります。全部で五十九世帯あるわけです。そのうちA階層はシヤりませんがB階層が四世帯、C階層が二十八世帯、D階層が二十七世帯となっております。なおD階

層の内訳を申しあげますと、D階層が五つに別れておりましてP1階層が一世帯、D2階層が八世帯、D3階層が六世帯、D4階層が四世帯、D5階層が九世帯となっております。なお保育に欠ける措置するというのは貧富の差がなく、保育しなければならないわけがございまして、いわゆるD階層につきましては低所得階層ではないの、予算上金額が多い少ないの問題ではないと思ひます。一つの次世帯としましてやはり高額所得者には応分の負担をしていただくたいという考えをもちまして私どもは進めようわけがございします。

○十番（松山清君） ただいまの点ですがどのくらいの世帯があつて、例えば半額にしたらどのくらいの予算が必要かということと私はお聞きしたいわけですが、計算ができましたら発表してもらいたいと思ひます。

次に公害関係のデーターの発表についてですが、P、C、Bだけではなくその他鉛と、騒音等について発表してもらいたいということと要望したのでありますからその点についてはどうか、

○市長（石川常太郎君） 騒音につきましては昭島市でございしますと平均九十五ホーン以上でございします。当市が大体七十ホーンから八十ホーンぐらいでございしますが、いろいろな関係もございしますの、これははっきりした数字を示すことは市の不利益になりますので慎しむようわけがございします。その点一つご了承のほどをいただきたいと思ひます。

なおその他基準の決っておりますカドミウムとかいろいろなものにつきましても今後分析した場合には発表するにやぶさかではございしません。

○福祉事務所長（森田猛君） 二子目の金額の問題がございしますが、私どもとしましては半額にする考えはもっておりませんので現時点においてどのくらいの金額になるかという数字は算出しておりません。○十番（松山清君） 最後に、基地問題については市民の安全を守るという立場から積極的に関係方面に申し入れや抗議等を強力的にするということも前提にしたものではなく、やはり撤去を固めますことを前提にやっております。

それから測定結果の発表がなせ市の不利益になるのか、それを明らかにしてもらいたい。そういう測定結果をなせ発表できないのか、市民にとっては重要なことです。市民の利益につながるものと私は思うわけが。それが市の不利益になるからという答弁はまずまず疑問をもちつのは当然であると思ひます。これは重大な問題だと思ひます。その点を明らかにしていただきたい。それから保育料の半額について、私はどのくらい金額がかかるのかということを知りたい。それを実施するつもりはないから計算してないのだから発表できないということでは私の一般傾向に対し答弁と成るべきでないわけが。やる、やらないにかかわらずどのくらいかかるから決まないと、この程度だから決まるということではじめて決ってくるわけが。予算はわずかしかなかったがやるつもりはないのか、そういう金額は計算すればすぐ出ると思ひうので発表していただきたいと思ひます。以上二件について質問いたします。

○十五番（岩田 博君） 休憩を願ひます。

○議長（末次性男君） 暫時休憩いたします。
午後十一時三十分 休憩

午後十一時四十分 開議

○議長（末次性男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。
○市長（石川常太郎君） 自席からお許しをただします。

市の利益につながるという答弁に對しました。この批判が正しいですが、私はやはり四万市民のための政策であると考えられます。なお基地に對しましては合法的に私たちの要望を平直に展開をしましてまいる予定でございます。

なお保育料につきましては福祉事務局長からご答弁申し上げます。

○福祉事務局長（森田 猛君） 保育園関係についてお答え申し上げます。

ただいまの金額の問題で、どのくらいかということでございますが、先ほど申しあげましたとおり金額が少ないうちからやる、

金額が多からやらないということではなく、いわゆる低所得者に対する施策はとってやるわけです。高所得者者に対する半額という考えはなかったの、資料はもってこなかったわけ、こたりますか、一般傾向の通告等につきまして細かく通告はされておりますが、私どもは私も本日ここに資料を出したわけ、こたりますか、私どもは不勉強でござりますして最終日にこの金額等を調べた上で発表したいと思っております。

○十番（松山清君） 要望としてはあくまでもそういう測定結果等と市民に発表してもらいたい。これは私が先ほどのようにいうように騒音はただでなくそのほか、騒音の公害は多少わかつてくる、そういうものについての測定結果も発表してもらいたいということ、さうしてやるわけです。

それから市の不利益になるという点については本日はこの程度にしておきますけれども、これからこの問題についてはこうした場合その見解を明らかにしていくように考え、今回は終わります。

それから保育料のデータの件ですが、私は一般傾向でこの問題については二子以上を半額にする考えはないか、どうかという通告を読んで十分になると思っています。それで当然データを準備しているものと考えておりました。最終日はこのデータをデータを出してもらいたいと思っております。こういう問題についてはこの場でデータを公表しなければならないのが当然ではないかと考えております。そういう点今後本会議に臨むときにはそういう資料をもってきてもらいたいことを要望し、一般傾向の一般傾向を終わります。

○議長（末次性男君） 次に十八番中里元一君

（十八番中里元一君登壇）

○十八番（中里元一君） ただいま議長よりお評しがありすしたので通告にしまして私の一般傾向をさせていたたきます。

現在当市には市営の保育所が二箇所、すみれ、つくし両保育所とござります。園長をはじめとして主任、保母、用務員約十九名にござります。運営されております。見